

	部(支所)長	課長	担当
回覧			

## 意外と知られていない？アザミウマについて

新年度が始まり、心機一転、新たな気持ちでお過ごしでしょうか？

今回の情報誌のテーマはアザミウマについての防除の紹介です。

気温が高くなりアザミウマ類の被害が様々な作物で出ています。アザミウマ類については種によって薬剤感受性が異なるため注意して防除を行いましょう。以下に生態から防除に至るまで掲載しております。

初めに・・・

### アザミウマ類（別名：スリップス）の生態！

日本に生息するアザミウマ類には2亜目4科があり130種が記録されています。これらのうち被害が問題になっているミナミキイロアザミウマ、ネギアザミウマ、ミカンキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマは発生が拡大しております。

主要なアザミウマの種類と加害作物

アザミウマの種類 \ 作物名	ナス	ピーマン	トマト	キュウリ	かぼちゃ	スイカン	メロン	ネギ	タマネギ	ニラ	アスパラガス	キャベツ	インゲン	エンドウ	カンキツ	キク	イチゴ	ミカン	カーネーション	ガーベラ	バラ	シクラメン	
ミナミキイロアザミウマ	●	●		●	●	●	●						●										
ネギアザミウマ	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●		●	●	●			●				
ミカンキイロアザミウマ	●		●	●												●	●	●	●	●	●	●	●
ヒラズハナアザミウマ	●	●	●	●		●	●						●	●			●						

私たちJAグループは“無登録農薬”は扱いません！

単にアザミウマ類といっても各々特徴が異なります。以下に写真を掲載して特徴をまとめております

【ミナミキイロアザミウマ】



(成虫) 体色：黄色～黄褐色  
(幼虫) 体色：黄白色

寄生場所 → 葉、果実  
発育速度 → 18 日程  
平均産卵数 → 30～40 粒

【ネギアザミウマ】



(成虫) 体色：淡黄褐色  
(幼虫) 体色：白色～淡黄色

寄生場所 → 葉  
発育速度 → 20 日程  
平均産卵数 → 70 粒

【ミカンキイロアザミウマ】



(成虫) 体色：黄色 (雌)  
          明るい黄色 (雄)  
(幼虫) 体色：白色

寄生場所 → 花、葉  
発育速度 → 15 日程  
平均産卵数 → 360 粒

【ヒラズハナアザミウマ】



(成虫) 体色：暗褐色 (雌)  
          黄色 (雄)  
(幼虫) 体色：黄色

寄生場所 → 主として花  
発育速度 → 12 日程  
平均産卵数 → 500 粒

## アザミウマが及ぼす直接的な被害と間接的な被害について！

アザミウマ類は直接的に果実や葉、茎などを食害することやウイルス病の媒介などの間接的な被害も顕著であります。以下にアザミウマ類によって媒介されるウイルス病をまとめました。

アザミウマ類によって媒介されるウイルス病

略称	TSWV	INSV	IYSV	MYSV	CSNV	CaCV	WSMoV	
ウイルス名	Tomato spotted wilt virus	Impatiens necrotic spot virus	Iris yellow spot virus	Melon Yellow Spot Virus	Chrysanthemum stem necrosis virus	Capsicum chlorosis virus	Watermelon silver mottle virus	
和名	トマト黄化えそウイルス	インパチエンスえそ斑紋ウイルス	アイリスイエロースポットウイルス	メロン黄化えそウイルス	キク茎えそウイルス	ピーマン斑紋ウイルス	スイカ灰白色斑紋ウイルス	
ウイルスのグループ	ブニヤウウイルス科トスポウウイルス属	ブニヤウウイルス科トスポウウイルス属	ブニヤウウイルス科トスポウウイルス属	ブニヤウウイルス科トスポウウイルス属	ブニヤウウイルス科トスポウウイルス属	ブニヤウウイルス科トスポウウイルス属	ブニヤウウイルス科トスポウウイルス属	
ウイルス獲得期間	1～2 齢幼虫	1～2 齢幼虫	1～2 齢幼虫	1～2 齢幼虫	1～2 齢幼虫	1～2 齢幼虫	1～2 齢幼虫	
ウイルス伝播期間	成虫	成虫	成虫	成虫	成虫	成虫	成虫	
伝播様式	永続伝播	永続伝播	永続伝播	永続伝播	永続伝播	永続伝播	永続伝播	
媒介するアザミウマ	ミカンキイロアザミウマ, ミナキイロアザミウマ, ネギアザミウマ, ヒラズハナアザミウマ, チャノキイロアザミウマ, ダイズウスイロアザミウマ	ミカンキイロアザミウマ, ヒラズハナアザミウマ	ネギアザミウマ	ミナキイロアザミウマ	ミカンキイロアザミウマ	アザミウマ類 (種名の報告無し)	ミナキイロアザミウマ	
主な媒介種	ミカンキイロアザミウマ	ミカンキイロアザミウマ	ネギアザミウマ	ミナキイロアザミウマ	ミカンキイロアザミウマ	アザミウマ類 (種名の報告無し)	ミナキイロアザミウマ	
病徴	トマトでは葉の褐色えそ斑, 茎や葉柄のえそ条斑等の病徴が発生する。また, 果実にもえそ条斑を生じる。	えそ斑点, えそ輪紋, 退色輪紋など。	葉身に不明瞭な退緑斑が発生し, その後境界部に淡黄色を帯びた白色の紡錘形えそ条斑を生じる。病斑が癒合拡大し, 葉が萎凋・枯死することがある。	葉にえそ斑, 退緑斑, モザイク, 黄化などの病徴が発生し, 最終的には枯死する。キュウリでは果実にモザイク病が死生することもあるが, 収量の低下が最も問題となる。	茎に明瞭なえそ症状, 葉に退緑・えそ症状を生じる。トマト黄化えそウイルスによるキュウリ病の病徴と酷似しており, 病徴からの診断は困難。	葉では, 病徴は特徴的な退緑斑紋や明瞭な輪紋症状を生じ, 軽度な奇形を生じる場合がある。また, 果実では奇形や軽度のモザイクを生じる。		
感染植物	トマト, ピーマン, ナス, ダリア, キク, ガーベラ, シネリア, マリーゴールド, アルストロメリアなど	トルコギキョウ, シクラメン, シネリアなど	ネギ, タマネギ, ニラ, トルコギキョウなど	メロン, キュウリ	キク, トマトなど	ピーマン	スイカ, トウガン, ニガウリ・キュウリ, ツルナ	
代表的な病名	トマト黄化えそ病 キクえそ病	トルコギキョウえそ斑紋病	ニラえそ条斑病 ネギえそ条斑病	キュウリ黄化えそ病 メロン黄化えそ病	キクえそ病	ピーマン退緑斑紋病		

※JPP-NETの特殊報を元に取りまとめた。

## 防除方法について！

- 耕種的防除については周辺雑草の除去、防虫ネット、収穫後の作物の処分・・・etc
- 粒剤処理については定植前または定植時に使用作物に登録のある以下の粒剤を株元散布します。  
(アクタラ粒 5、アドマイヤー1 粒、モスピラン粒、ベストガード粒)
- 茎葉散布については各アザミウマによって感受性が異なります。

ミナミキイロアザミウマ・・・他のアザミウマと比べて薬剤に強いいため約 1 週間間隔で系統の異なる薬剤を 2~3 回散布する。

スピノシン系 (スピノエース顆水、デアナSC) ネオニコ系 (アドマイヤー顆水、モスピラン水)  
マクロライド系 (アフーム乳) 複合体 I 阻害A型 (ハチハチ乳) リン酸化脱共役 (コテツFL)  
IGR (カウンター乳、カスケード乳)

ネギアザミウマ・・・密度が高くなると防除が難しくなるため発生初期に散布する。

有機リン系 (ジェイエース水、オルトラン水)、カーバメート系 (オリオン水、ランネート水)  
スピノシン系 (スピノエース顆水、デアナSC)、ネオニコ系 (アドマイヤー顆水、モスピラン水)  
フェニルピラゾール系 (プリンスF)、マクロライド系 (アフーム乳)、複合体 I 阻害A型 (ハチハチ乳)  
IGR (カウンター乳、カスケード乳)

ミカンキイロアザミウマ・・・ネオニコ系の薬剤に対して感受性の低下がみられる。

有機リン系 (スプラサイド乳、エルサン乳、スミチオン乳)、スピノシン系 (スピノエース顆水、デアナSC等)、マクロライド系 (アフーム乳)、リン酸化脱共役 (コテツFL)、IGR (カウンター乳、マッチ乳)

ヒラズアザミウマ・・・ネギアザミウマに準ずる。

\*このように使用作物に登録のある主な薬剤を記載しておりますが地域ごとに薬剤感受性が異なりますので過去の試験事例や散布履歴等を確認して指導に活用して頂くと幸いです。

\*引用：JA全農肥料農薬部 害虫と防除法

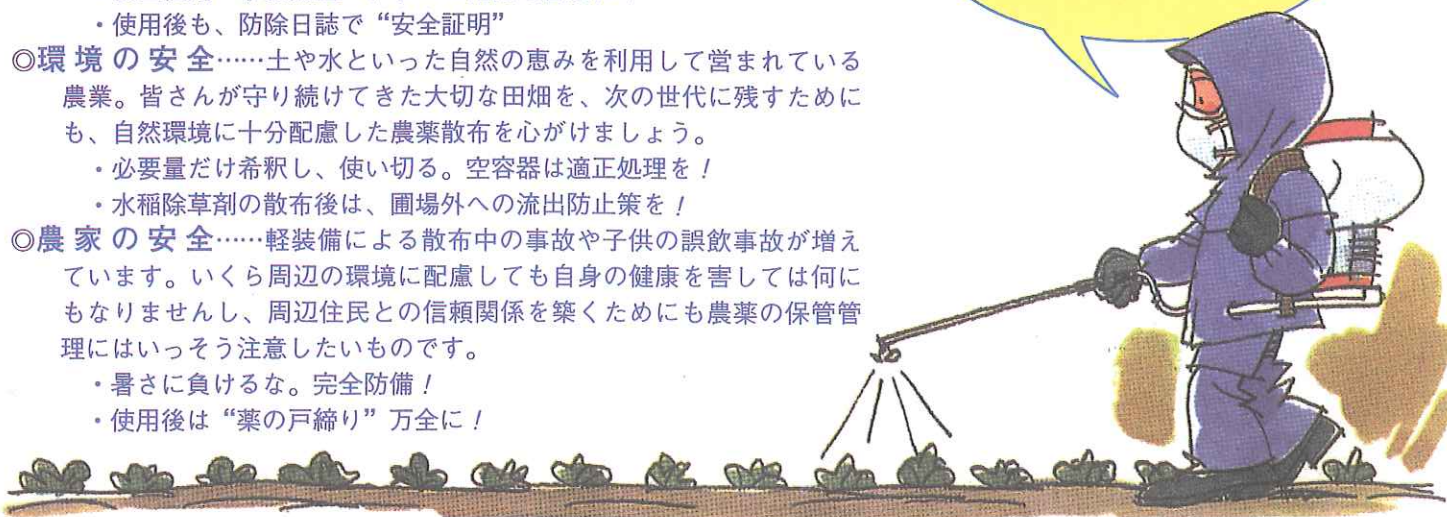
\*5月号に記載されている内容はJA全農ながさきのホームページに掲載されています。

JA全農ながさきホームページURL：<http://www.ns.zennoh.or.jp>

## JAグループ「安全防除運動」展開中

- ◎**農産物の安全**……今、消費者がもっとも願っている「食の安全」。  
それは私たち生産者の願いでもあります。きちんとした農薬を選び、正しく使って、日誌に記録を残す。これを続けることが、消費者に信頼される農産物づくりにつながります。
  - 使うのは、もちろん登録農薬！
  - 安全使用・事故防止へ、ラベル確認を習慣に！
  - 使用後も、防除日誌で“安全証明”
- ◎**環境の安全**……土や水といった自然の恵みを利用して営まれている農業。皆さんが守り続けてきた大切な田畑を、次の世代に残すためにも、自然環境に十分配慮した農薬散布を心がけましょう。
  - 必要量だけ希釈し、使い切る。空容器は適正処理を！
  - 水稲除草剤の散布後は、圃場外への流出防止策を！
- ◎**農家の安全**……軽装備による散布中の事故や子供の誤飲事故が増えています。いくら周辺の環境に配慮しても自身の健康を害しては何にもなりませんし、周辺住民との信頼関係を築くためにも農薬の保管管理にはいっそう注意したいものです。
  - 暑さに負けるな。完全防備！
  - 使用後は“薬の戸締り”万全に！

散布するときは、  
マスク、メガネ、手袋を  
きちんと、つけましょう。



安全使用基準を守りましょう